

学科名	電気通信工学科・情報学科						
科目名	情報科教育法 I						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	教職情報必修						
担当者	戒田 高康						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の基本的展開と指導が実践できる。 ・学習指導要領の教科「情報」を説明できる。 ・情報教育の変遷について概要を説明できる。 						
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要、成績評価法の説明 4/18 情報科教員と情報教育 4/25 情報教育の概要及び学校教育と教師の役割 5/02 学校の組織と運営管理、組織の機能、校務分掌、教員の服務、教師像 5/09 情報科教員の研修、望ましい教師像、教育活動 5/23 学校教育と教育行政 5/30 中学校における技術教育と高等学校教育の現状と課題 6/06 産業教育と情報教育の現状と課題 6/13 戦後教育史の概観 6/20 授業計画の作成と実践(1) 6/21 授業計画の作成と実践(2) 6/21 教科「情報」の現状 7/27 ミニ模擬講義(1) 7/04 ミニ模擬講義(2) 7/11 ミニ模擬講義(3)とまとめ						
成績評価基準	定期試験			実技			30%
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	25%		プレゼンテーション			20%
	課題	25%					
	演習			計			100%
授業到達目標の達成度	上述の「授業到達目標」に関しては、合格者については3項目すべてを理解させることが達成できたことを口頭試問およびミニ模擬授業で確認した。						
反省点	ミニ模擬講義の準備に時間をかけたが、その分、講義する内容を精査した結果、学生への知識の定着に不足な点が見受けられた。						
来年度の計画	ミニ模擬講義を講義の後半に置くのではなく、中盤に置いて、総括の講義を2、3週間行うことも検討する。						
授業評価アンケートに対するコメント	設問9(授業に対する教員の熱意)、設問10(教員は学生の質問、疑問、意見をくんだか)および設問11(教員のあなたがたへの接し方)が平均値より僅かであるが低いので、今後改善を図る。また、設問(1週間で平均自学自習時間)も平均より低いので、もう少し講義時間外に模擬講義等の準備を出来るように工夫する必要がある。ただし、本講義は受講者が少ないので、複数にわたる年度での検討も必要である。						
履修登録者数	14名	定期試験 受験者数	13名	合格者数	13名	合格率	100%